

JFMA 賞 受賞事例集

JAPAN FACILITY MANAGEMENT AWARDS RECIPIENTS (2007 ~ 2012)

JAPAN FACILITY MANAGEMENT ASSOCIATION (JFMA) has a tradition of recognizing organizations and individuals for their outstanding achievements in support of the profession of facility management.

BEST FM AWARD (UZAWA Award)
EXCELLENT FM AWARDS

TECHNOLOGY AWARDS
ACHIEVEMENT AWARDS

PROMOTION AWARDS
SPECIAL AWARDS



JFMA 賞について

会長 坂本 春生



会長 坂本 春生

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会 (JFMA) では、ファシリティマネジメント (FM: 企業・団体等が組織活動のために施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動) のわが国での普及定着を目指し活動を続けております。

この活動の一環として、JFMA では 2006 年度 (平成 18 年度) に日本ファシリティマネジメント大賞 (JFMA 賞) を創設し、FM 手法導入で大きな成果を挙げている活動、FM 普及に功績のあった事例・組織・個人を毎年表彰して参りました。

第 1 回からの受賞事例は、いずれも極めて高いレベルのものばかりです。特に、優秀 FM 賞受賞事例には、閉塞感ある現在のわが国での、今後の組織活動のあり方を考える上でのヒントが多々あると考え、これを中心に受賞事例の紹介を企画しました。このパンフレットが、わが国の経営活動を元気にする一助になることを祈っております。

審査委員

沖塩 荘一郎	(東京理科大学 名誉教授/審査委員長)
石福 昭	(社団法人建築設備総合協会 名誉会長)
江川 邦雄	(経済産業省商務情報政策局 日用品室長)
北川 正恭	(早稲田大学大学院 教授)
澤本 英二	(国土交通省大臣官房 官庁営繕部長)
宮崎 清志	(日経BP社 建設局長)
村田 博文	(株式会社財界研究所 代表取締役)
柳澤 忠	(名古屋大学 名誉教授)
米倉 誠一郎	(一橋大学大学院 教授)
池田 芳樹	(公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会 専務理事)

2011/12 現在 (委員長以下50名順 敬称略)

2007年 第一回 最優秀 FM 賞、優秀 FM 賞

最優秀 FM 賞
BEST FM AWARD (UZAWA Award)

アクセンチュア 株式会社 ACCENTURE JAPAN, Ltd. (本社オフィスなどの戦略的 FM の実践)

FM を活用し、ICT とワークスタイルの融合により、質の高いワークプレイス維持、スペース削減、職員増対応などに成功し、経営に貢献。

グローバルな FM 手法適用と戦略的アウトソーシングにより、質の高いワークプレイス維持、スペース削減、職員増対応などに成功している FM の好事例。座席数は職員の 7.7 人に 1 席しかないが、職員が最も自分の能力を発揮して働けるよう、多様な空間とサービス（ビジネスサービスセンター、集中ブース、タッチダウン、キオスク、電話ブース、コラボレーションエリア、各種ラウンジ、カフェ、マッサージ室など）を用意。

Facility Management Initiative

Branding

- メッセージボードによるコーポレートイメージの浸透
- アクセンチュアのクオリティやブランドを感じられるスペースデザイン
- 先進的でデザイン性の高いビル（グッドデザイン賞受賞）の選定

Safety & Security

- 物理的セキュリティの強化
 - グローバル共通セキュリティシステム
 - 防犯カメラ設置
- サウンドマスキングシステムの導入
- クリーンアップ活動の実施
 - 放置されたドキュメントを毎朝回収
 - 半年に一度の啓蒙キャンペーン
 - 収納の天板を曲面にして放置ドキュメントを削減
- ISO27001 の情報セキュリティ認証取得活動

Flexibility

- 固定費比率を極力低くした Real Estate Portfolio プラン
- ホテリングオフィスの運用
- 増員に柔軟に対応できる Furniture solution の導入
- 無線 LAN の導入
- どこからでもリクエストできる予約システム

Comfortable

- 満足度調査の実施 & 継続改善
- ビジネスサービスセンターの充実
- オフィス内カフェの設置
- マッサージルームの設置
- アースカラーを多用した落ち着いたインテリアデザイン
- 外部倉庫サービスの充実化 (Web リクエスト & 一日 2 回のデリバリー)

Efficiency

- アウトソーサーの複数活用
- 利用対象者 7.7 人に 1 座席と高い共有率
- 週 2 回の稼働率調査の実施
- オフィス稼働率目標値 85% の実現
- 緻密な調査に基づく合理的なスペース配分

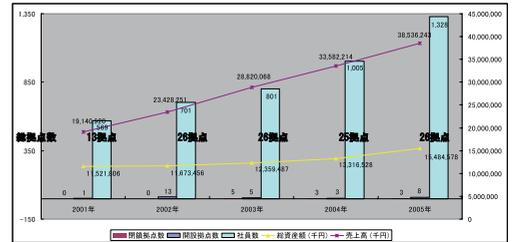


優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

株式会社 インテリジェンス INTELLIGENCE, Ltd. (企業の成長を支える FM の実践)

合併や買収での社員急増や施設重複に見事に対応して、企業の成長を支えている。

合併や買収での規模の急拡大による社員数急増や施設重複に対し、FM のアウトソーシング先と FM 情報ツールを活用して見事に対応し、企業の成長を支えている。4 年間で、社員数 2.3 倍の伸びに対し、総資産は 1.34 倍の伸びに抑制。人材サービス企業として、相談に来る人の心理に配慮した立地や空間構成も見事。



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
閉鎖拠点数	0	0	5	3	4
開設拠点数	1	13	4	3	5
社員数	569	701	801	1,005	1,328
総資産額 (千円)	11,521,806	11,673,456	12,359,487	13,316,528	15,484,578
売上高 (千円)	19,140,920	23,428,251	28,820,068	33,582,214	38,536,243

優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

株式会社 北海道銀行 The HOKKAIDO BANK, Ltd. (金融機関における FM 業務の実践と包括的アウトソーシング)

FM アウトソーシング導入により、ファシリティコストを削減し、良好な建物環境享受。

- FM 業務範囲：北海道銀行が保有する 132 営業店（延床面積 155,000 m²）、土地 129,000 m² に係わる FM 情報業務など 8 項目
- 効果：FM アウトソーシングの導入により、ファシリティコストの削減をはじめ、良好な建物環境の享受が可能
- ◆ リソースの本業集中：施設管理従事者 7 名減（8 名 ⇒ 1 名）
- ◆ ファシリティコスト：年間 4 億円削減（年間物件費の約 3%。導入当時との比較）
- ◆ 店舗新築コスト：3 割削減
- ◆ 店舗整備コスト：2 割削減
- ◆ FM 専門家による FM サービスの享受



優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

社会福祉法人 コスモス保育園 COSMOS NURSERY SCHOOL (FM 台帳を活用した私立保育園施設のトータル管理)

園長・保育さんが直接参加で備品やエネルギー管理を行ない、コスト削減など経営に貢献。

- FM 台帳導入後の効果
- ・ 事後保全から予防保全により、建物の安全性が向上
- ・ 設備機器等の故障履歴により、計画的修繕が可能となり園児と職員的生活環境が向上
- ・ オーナーがファシリティに関わることで、光熱費等のコスト意識が向上し運営コストの削減効果が発生
- ・ データベース化により、行政監督庁等への報告稼働が低減
- ・ データベースで非常緊急時の連絡先を整理することで非常時の即応性が向上
- ・ データベース化により光熱水量の削減で地球環境保護へ貢献
- ・ ファシリティマネジメントの実践により、保育園のイメージアップ



2008年 第二回 最優秀 FM 賞、優秀 FM 賞

最優秀 FM 賞
BEST FM AWARD (UZAWA Award)

青森県 AOMORI PREFECTURE (青森県における FM の導入・推進)

財政悪化と施設老朽化対応に、組織を再編し、保有総量削減・効率的利用・長寿命化など見事な実績を挙げている。

「庁内ベンチャー制度」を利用しての、地方自治体職員による自発的かつ啓蒙的な FM 活動の推進展開である。

2004 年度に取組に着手し、県有施設に係るコスト削減等での成果を挙げ、2006 年度には施設の利活用調整を開始するなど、3 カ年のうちに FM を全庁的なものとするところまで発展を遂げている。

他の自治体にも大きい影響を与えつつある事例で、青森県のブランディングにも寄与。

＜課題＞

- ・2012年度には築後30年を経過する(1982年以前建築)施設が過半
- ・老朽化に伴い維持管理費が増大
- ・個別管理による施設間格差や遊休施設の放置

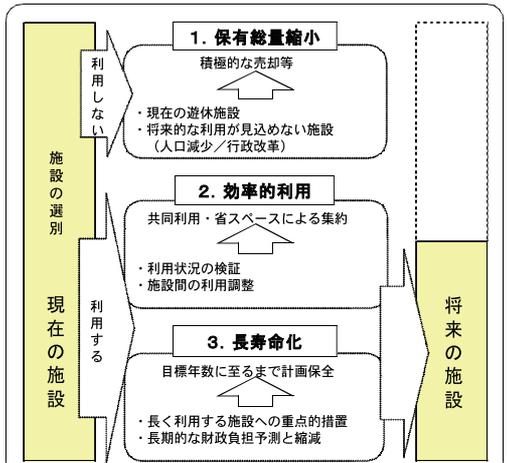
◆方針の目的

ファシリティマネジメントの考え方に基づき、全庁的な共通認識のもとで利用調整を行い、県有施設の有効な利活用を推進

◆推進体制

「県有不動産利活用推進会議」により、本方針に基づく取組を推進

◆取組の推進方向

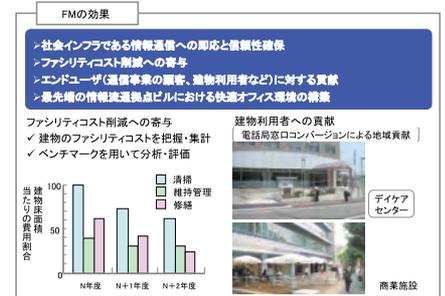
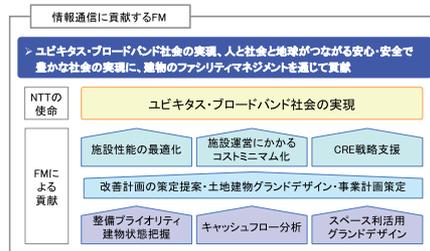


優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST Corp. & NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST Corp. (大規模施設群を対象とした FM の実践—変化を続ける情報通信に即応し最適なファシリティを供給)

FM 専門組織への大規模包括的アウトソーシングにより、コスト削減と良質のファシリティ環境を享受。

業務の網羅性、システム整備、全国にわたる管理対象施設数など、FM 実践の規模としてわが国最大級。業務評価によるインセンティブ付与など、新しいアウトソーシングのあり方追求でも先進的。

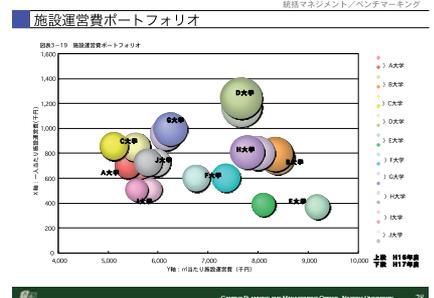
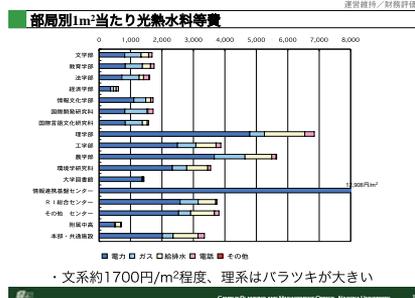


優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

国立大学法人 名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY (国立大学法人における戦略的 FM の実践)

各種 FM データをオープンにし、施設運営費の適正化、10 大学ベンチマーキング活用目標管理などで大学経営に大きく貢献。

- 名古屋大学の FM 業務プロセスにおけるデータ管理
- 1. 戦略・計画—キャンパスマスタープラン
- 2. プロジェクト管理—新たな財源による施設整備
- 3. 運営維持—施設運営費の適正化 (部局別 1 m²当たり光熱水費や維持管理費などデータ整備して公表)
- 4. 目標管理—10 大学ベンチマーキング (m²当たり、1 人当たり施設運営費比較図などを公表)



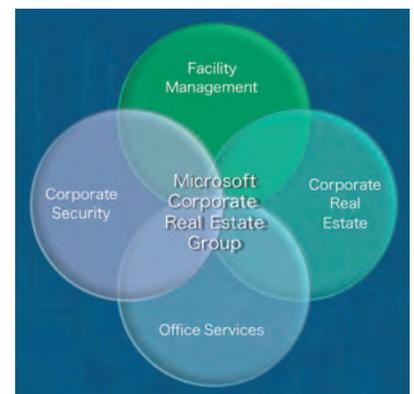
優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

マイクロソフト 株式会社 MICROSOFT JAPAN Co., Ltd. (Enhanced Work Place の実現)

外部協力会社とともに最新技術を駆使し、環境負荷低減、サービスレベル最大化とコスト最小化を目指し経営に貢献。

「世界中すべての人々とビジネスの持つ可能性を最大限に引き出す為の支援をすること」がこの会社のミッション。その「場」の構築を、FM 手法活用で実践。

社員が「いつでもどこでも快適に働ける環境」を実施すべく、外部の協力会社と共に最新の技術やサービス、環境負荷の低減などを考慮しサービスレベルの最大化とコストの最小化を目指し成果を挙げている。



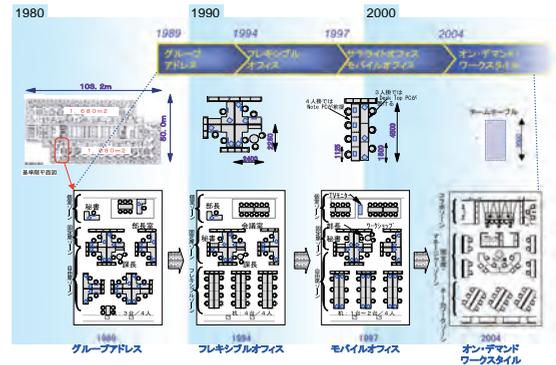
2009年 第三回 最優秀 FM 賞、優秀 FM 賞

最優秀 FM 賞
BEST FM AWARD (UZAWA Award)

日本アイ・ビー・エム 株式会社 IBM JAPAN, Hakozaki Headquarters (1989年竣工のIBM箱崎事業所におけるワークプレイス構築の変遷)

竣工後20年間、時代の変化に対応した執務環境提供とスペース効率化により経営に貢献。近年のオンデマンドスタイルは、ソリューション型営業人材の働き方改革のモデル。

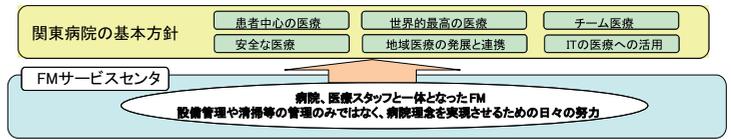
20年前の竣工時、世界初の大規模本格的フリーアドレスオフィスとして脚光を浴びたこの事業所は、その後94年のフレキシブルオフィス、97年のモバイルオフィス、04年からはユビキタスの働き方とセキュリティを両立させ配席率20~35%のオンデマンドワークスタイルへと、時代の変化に対応した執務環境の提供とスペースの効率化によって経営に貢献してきたFMの先進事例。



優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

NTT 東日本関東病院 NTT MEDICAL CENTER TOKYO (600床を超える高度医療の総合大病院でのFM実践の成果)

FMスタッフ・病院経営者・医療スタッフが一体となり、患者中心・安全・世界最高の医療、地域医療の発展と連携、ITの活用などの病院の基本方針実現を図り、経営に貢献。



優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

医療法人社団 済安堂 井上眼科病院 INOUE EYE HOSPITAL (視機能に障害のある患者を迎えるための眼科専門病院の取組)

1日1,000人の外来患者診察のための工夫、施設内は勿論、駅から病院までのアクセスなど、独自のユニバーサルデザインは見事。



下がり天井とライン照明、床のデザインによる明快なメイン通路



調査による分かりやすいサイン計画

優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

聖路加病院 ST. LUKE'S INTERNATIONAL HOSPITAL (1901年の創立当初から患者中心の医療提供で知られる医療施設の戦略的FM実践事例)

患者満足度向上、災害時などのセーフティマネジメントなど、院長以下経営陣とファシリティマネジャーとの見事な連携で成果を挙げている。

- ✓「患者満足度調査」(1998年10月～、年1度、外来:1Week、病棟:1ヶ月) 担当:サービス向上委員会(20名)
- ✓「カイゼン」(2005年11月～、3回/年) 担当:教育研修部(5名) 総合医療相談室の設置、病棟セキュリティの強化、男子小便器の交換
- ✓「患者ご意見対応ミーティング」(2006年10月～、原則 毎日) 担当:法務課(3名) 従来は担当部署(広報室⇒その後法務課)が回収し、担当部署の判断で関係部署に配布、その後回答を回収し、必要な場合には返事を郵送 ⇒ 回答・返事の対応が遅れがち ⇒ 院長が司会のご意見対応

総合評価: 外来 26.52ポイント上昇
総合評価: 入院 10.54ポイント上昇
*2007年度調査(前年対比)

優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

大成建設 株式会社 TAISEI CORPORATION, Sapporo Branch Office (大成札幌ビルにおけるFMとその展開)

札幌支店ビル建設・運営に当たり、自社開発のFM技術・推進体制等のノウハウをオフィス改革にまで活用して成果を挙げ、職員の意識改革が他の支店にも波及。ワークスタイルを含めた自社技術のショールーム。



優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

武蔵野市役所 MUSASHINO CITY (地方自治体でのFM活用公共施設保全整備計画)

既存施設の長寿命化とライフサイクルマネジメントにFM各種技術を活用、事後保全から計画保全に切り替え、適切な保全予算を確保した点が画期的。

保全整備の実績

予算額 (千円)	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	73,883	55,116	44,360	22,914	295,719	306,283	303,928	461,011
					計画保全			

保全整備の重要性が共通認識され、「保全整備の運用」が導入された平成17年以降、約3億円の保全整備を実施。

2010年 第四回 最優秀 FM 賞、優秀 FM 賞、特別賞

最優秀 FM 賞
BEST FM AWARD (UZAWA Award)

財団法人 倉敷中央病院 KURASHIKI CENTRAL HOSPITAL 〈変化する病院、経営者・医療者・設計者が三位一体となったFM〉

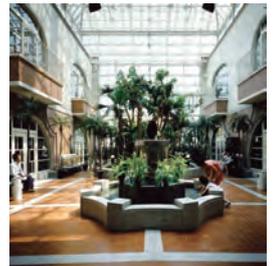
「家庭的な温もりの中で最高の医療」を掲げ、医療の質とサービスを充実させた上、高い収益と安定した剰余に基づく近代化と将来計画を実現しており、病院 FM の一つの模範事例。

永年にわたる経営者・医療従事者・設計者が三位一体となった病院経営と FM 戦略で、高機能病院化、医師・看護師ら増加、床面積増加、増築改修実施、新旧の施設差をなくすシームレス化などで質とサービスを向上させる一方、満床に近い稼働率を維持していることと、平均在院日数短縮、光熱費抑制などの徹底により経営的にも安定。

大原孫三郎、總一郎の人類愛を根底にしたホスピタリティの思想は、病院のエントランスの対応から感じられる。40年以上にわたる壮大な病院リノベーションプロセスを、シームレスな建築計画で実現し、ベンチマーク手法を活用し常にPDCAを回しファシリテイトコストの縮減から街づくりへの寄与まで、絶えず戦略と目標を持ち FM を実施している。



△2000年頃の全景写真



△外来待合(サブ廊下)



△温室西通り(幹線廊下)

優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

ソラーレ ホテルズ アンド リゾート 株式会社 SOLARE HOTELS & RESORTS, Okinawa Marriott Resort & Spa 〈オキナワマリオットリゾート&スパにおけるユニバーサルルームを活かしたFM活動〉

2005年の建設時に、高水準のユニバーサルルーム36室を設けながら活かされず、稼働率20~30%だった。経営資本移転後、「日本のユニバーサル・リゾートを目指して」ハード・ソフト両面の戦略的FM手法導入の結果、稼働率を70%と飛躍的に向上させた。

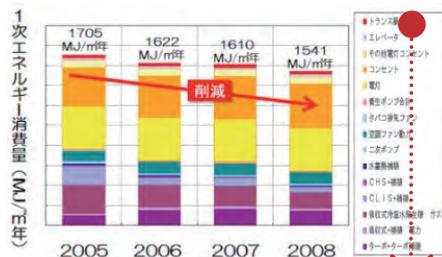
実際にハンディキャップを持つコンサルが指導し、中途半端であったハード・ソフト面の再構築を指導、僅かの改修費用でバリアフリー新法に基づく認定を取得、職員研修と意識改革も進めた。



優秀 FM 賞
EXCELLENT FM AWARDS

株式会社 竹中工務店 TAKENAKA CORPORATION, Tokyo Main Office 〈竹中工務店東京本店のFM活動〉

「高効率・高品質なワークプレイス構築」「環境負荷低減」「ローコスト追及」を高レベルで実現して2004年末竣工の東京支店は、入居後5年この3つのFM目標追求を体系的・継続的に実施、ワーカーの満足度向上・コスト削減など成果を挙げている。



特別賞
SPECIAL AWARDS

2005年日本国際博覧会協会 EXPO 2005 AICHI JAPAN 〈愛知万博におけるFMの実践〉

敷地の狭さ・高低差・保存緑地といった制約条件の中、計画・建設・運営・解体後の利用まで、3R (Reduce, Reuse, Recycle) を徹底し、環境を大きく変えずにコンパクトな会場を設営・運営し、2,500万人の来場を得る大成功に導いた、戦略的FM事例。



2012年 第六回 最優秀FM賞、優秀FM賞、特別賞

最優秀FM賞
BEST FM AWARD (UZAWA Award)

静岡県浜松市 HAMAMATSU CITY, Shizuoka Prefecture 〈5年間にわたる「資産経営の取組み」〉

データ整備、評価方法の確立、現状評価、総量縮減への計画、組織体制整備など、一連の継続的活動が高く評価された。

平成大合併により不要となった町役場を外国人学校などに活用するなど、積極的に動いている。公会計制度と事務事業評価等の既存制度とを連携させ、全庁的にしくみを変える動きが、他の自治体にも影響を与えることを期待しての受賞となった。

- 取組みの4つの柱
- ・保有財産の最適化
- ・保有財産の利活用
- ・維持管理コストの最適化と環境対策
- ・活用財産の長寿命化

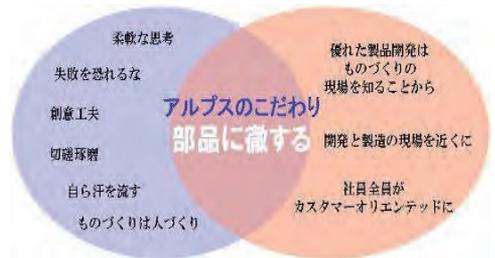


優秀FM賞
EXCELLENT FM AWARDS

アルプス電気 株式会社 ALPS ELECTRIC Co., Ltd. 〈新本社ビルを活用したFMの進化〉

早くから執務環境改善、フリーアドレス導入などFM的活動を継続的に行ってきたアルプス電気が、2010年に創業の地に建設した新本社ビルが主対象。

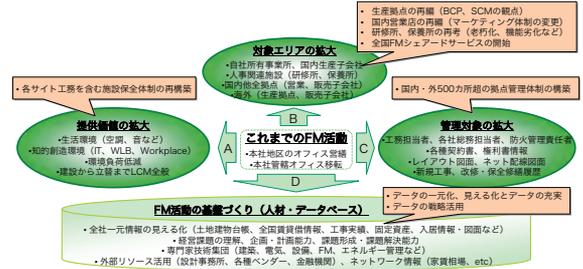
地域への配慮、TQC手法をワークプレイスに適用しての日常の改善、全面フリーアドレス採用など、経営と連携したFM活動の展開が高く評価された。東日本大震災では、取り組んできたBCPが見事に成果を発揮している。



優秀FM賞
EXCELLENT FM AWARDS

富士ゼロックス 株式会社 FUJI XEROX CO., Ltd. 〈FMシステムの定着事例〉

2004年から今日に至る7年間の継続的FM活動。現在抱えている拠点数は、国内370、海外150。1990年代には分散管理だったが、2008年頃から統括的管理となり、全体最適、本社の戦略主導へと改革。拠点数やスペース削減でファシリティコストを約30%削減。コストやスペースなどのデータ整備、有効活用、ファシリティマネジャーと経営陣の連携も、優れたFM実践事例として高く評価された。



優秀FM賞
EXCELLENT FM AWARDS

イーザイ 株式会社 EISAI Co., Ltd. 〈本社におけるFM実践事例〉

総務部の中でFM活動を準備し、約10年にわたるFMの実践事例。簡易CAFMによるデータ整備、アウトソーシングを活用し少人数体制での創意工夫による品質確保など成果を挙げている。この経験が2010年春に完成した小石川ナレッジセンターの企画・建設・運営維持に生かされている。ニーズ把握、与条件整理、設計者・施工者への伝達でのFM手法活用や地域への配慮も高く評価された。



特別賞
SPECIAL AWARDS

株式会社 アフタヌーンソサエティ AFTERNOON SOCIETY Co., Ltd. 〈現代版家守「やもり」のエリアFM活動〉

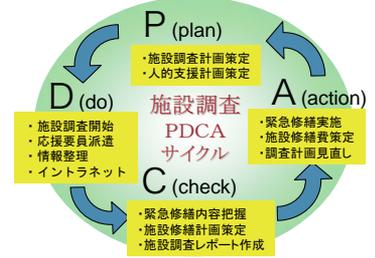
都市再生、遊休不動産活用のプロデュース役で、まちづくりとFMの接点活動と高く評価され特別賞(社会システム)受賞となった。江戸時代、不在地主に代わって土地・家屋の管理と町内のマネジメントする役割を担った「家守」、いわば江戸のまちのFMの仕組みを採り入れて、空室の多いビルの店子集めから、地元企業と若手の交流による企業支援などを手がけ、民間主導でまちを再生する実践的な試みを行っている。2003年以降、神田・裏日本橋の間屋街再生など、継続的な活動を行っている。

- 現代版家守のエリアFM活動
- ◆ エリアマーケティング & 不動産活用
 - ◆ エリアプロデュース & マネジメント
 - ◆ プロパティマネジメント
 - ◆ テナント仲介
 - ◆ 集客マーケティング
 - ◆ 地域プロモーション
 - ◆ 入居テナントとコミュニティの係わり合いコーディネート
 - ◆ 界隈産業育成と集積化
 - ◆ 人材育成・民間家守チームづくり
- 他

特別賞
SPECIAL AWARDS

日本郵政 株式会社 JAPAN POST HOLDINGS Co., Ltd. 〈東日本大震災時における郵便局等施設群「復旧対策」とその評価〉

2011年3月11日の東日本大震災に対し、被災状況把握、施策立案、継続使用可能施設特定、被災局舎の復旧、仮設仮復旧などを迅速に行ったことが高く評価され、特別賞(災害対策)受賞となった。非常時対応の日頃の体制が役に立った好事例として評価された。



技術賞、功績賞、奨励賞、受賞者・団体リスト

Technology Awards, Achievement Awards & Promotion Awards Recipients

2007年 第一回 技術賞、功績賞、奨励賞

1	技術賞 Technology Awards	フロパティータバンク(株) Property Data Bank, Inc.	不動産管理ASPシステムの構築および運用
2	技術賞 Technology Awards	大成建設(株) TAISEI Corporation	コンピュータを活用したFM支援システムの体系化と経営実務への展開
3	功績賞 Achievement Awards	田村 伸夫 Nobuo TAMURA (麻NTTファシリティーズ)	ファシリティマネジメントに立脚した建物性能の総合的評価手法の研究(学位論文)
4	功績賞 Achievement Awards	酢屋 ユリ子 Yuriko SUYA (元北里大病院事務部)	医療機関における環境のあるべき姿を求めて
5	奨励賞 Promotion Awards	(株)ハリマビシステム B-STEM Co. Ltd.	PFI事業におけるファシリティマネジメントの実践～神奈川県立近代美術館におけるFMの実践事例
6	奨励賞 Promotion Awards	ココヨ(株) KOKUYO Co. Ltd.	ココヨグループ「ライブオフィス」(オフィス改革/革新)活動
7	奨励賞 Promotion Awards	清水建設(株) SHIMIZU Corporation	PHSを活用した位置情報モニタリングシステム
8	奨励賞 Promotion Awards	日本郵政公社 JAPAN POST Public Corporation	インハウスの営繕業務のBPR～大規模施設群の統合管理支援システム～
9	奨励賞 Promotion Awards	松岡 利昌 Toshimasa MATSUOKA (株)松岡総合研究所	戦略的ファシリティマネジメントモデルの構築と実施
10	奨励賞 Promotion Awards	CRE研究会 (日本土地建物(株)) Nippon Tochi-Tatemono Co. Ltd.	「CRE戦略と企業経営」の出版
11	奨励賞 Promotion Awards	北海道庁/(社)北海道ファシリティマネジメント協会 /株北海道建設新聞社 HOKKAIDO GOVERNMENT et al.	北海道におけるファシリティマネジメントの普及

2008年 第二回 技術賞、功績賞、奨励賞

1	技術賞 Technology Awards	東急建設(株) Tokyu Construction Co. Ltd.	FMを身近な手法にするための草の根的ごころみ～みんなのきやふむ～
2	功績賞 Achievement Awards	三幸エステート(株) Sanko Estate Co., Ltd.	ファシリティ戦略マガジン「オフィスマーケット(東京版・名古屋版・大阪版)」の継続発行
3	功績賞 Achievement Awards	古阪 幸代 (WFM) Sachyo FURUSAKA (WFM)	10年間にわたるWFM(Women's Facility Management)の活動
4	奨励賞 Promotion Awards	富士フィルム(株) 富士ゼロックス(株) FUJIFILM Corporation & Fuji Xerox Co. Ltd.	第二の創業を加速する富士フィルム・富士ゼロックス新本社の構築
5	奨励賞 Promotion Awards	東京女子医科大学 八千代医療センター Tokyo Women's Medical University Yachiyo Medical Center	東京女子医科大学八千代医療センターにおけるIntegrated Facility Managementの実例
6	奨励賞 Promotion Awards	小林 寛 Hiroshi KOBAYASHI (ワークプレイスマネジメントクリエイト)	「実践ファシリティマネジメント」の出版によりFMの導入実践のあり方を探る

2009年 第三回 技術賞、功績賞、奨励賞

1	技術賞 Technology Awards	大成建設(株) TAISEI Corporation	階層的個別インタビュー手法「T-PALET」の開発と展開
2	功績賞 Achievement Awards	山本 康友 Yasutomo YAMAMOTO (東京都 財務局)	公共建築における戦略的な施設投資のための基礎的研究(学位論文)
3	功績賞 Achievement Awards	熊本大学大学院 位香・大西研究室 IKI-ONISHI Lab. Kumamoto University	ファシリティマネジメントの実践的教育・研究に関する一連の取組
4	奨励賞 Promotion Awards	ソニー(株) SONY Corporation	ソニー(株)における本社オフィスの構築を中心とするFMの実践
5	奨励賞 Promotion Awards	(株)大広 Daiko Advertising Inc.	大広東京本社新オフィス
6	奨励賞 Promotion Awards	(株)NTTファシリティーズ NTT FACILITIES, Inc.	建物110番システムの構築と運用
7	奨励賞 Promotion Awards	(株)ジェイアール 東日本都市開発 JR East Urban Development Corporation	複合商業施設における複合ゴミのエネルギー資産化システムの開発と環境問題解決への貢献
8	奨励賞 Promotion Awards	九州ファシリティマネジメント協会 Kyushu Facility Management Association	九州ファシリティマネジメント協会活動6年の歩み

2010年 第四回 技術賞、功績賞、奨励賞

1	技術賞 Technology Awards	(株)青木 茂 建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates Inc.	リファイン建築 一建物の新しい再生手法
2	功績賞 Achievement Awards	児玉 達朗 Tatsuro KODAMA (東京電力(株))	身体障害者の雇用拡大に向けた既存オフィス改修のファシリティマネジメント(学位論文)
3	奨励賞 Promotion Awards	(株)ミュージック・オン・ティーヴィー MUSIC ONI TV Inc.	(株)ミュージック・オン・ティーヴィーのチャレンジ [経営戦略が求めるFM]
4	奨励賞 Promotion Awards	(株)インテリジェンス Intelligence, Ltd.	実践!経済不況化におけるFM:ファシリティマネージャーの進化と真価
5	奨励賞 Promotion Awards	(株)富士通ビジネスシステム Fujitsu Business System, Ltd.	従業員満足からFM実践～中規模な事業所への適用モデル～
6	奨励賞 Promotion Awards	エコツヴェリア協会 The Ecozzzeria Association	新丸ビル「エコツヴェリア」を戦略拠点とした、大手町・丸の内・有楽町地区における、地区一体となった環境イノベーションプラットフォームづくりの推進活動
7	奨励賞 Promotion Awards	(株)みずほ銀行 Mizuho Bank, Ltd.	みずほハートフルプロジェクト～金融機関におけるユニバーサルデザイン導入と検証・改善～
8	奨励賞 Promotion Awards	(株)イトーキ ITOKI Corporation	情報セキュリティとフレキシビリティを両立させる二次元LAN通信手法
9	奨励賞 Promotion Awards	高柳 義隆 Yoshitaka TAKAYANAGI (株協和コンサルタンツ)	書籍「大家さんのリスク～意外に知らない30の落とし穴～」の出版と、マンション・アパート経営におけるファシリティマネジメントの奨め

2011年 第五回 技術賞、功績賞、奨励賞

1	技術賞 Technology Awards	教授 三木 光範 Mitsunori MIKI (同志社大理工学部)	執務者の個別嗜好照度と高い省エネルギー性を実現する照明の分散最適制御システム
2	技術賞 Technology Awards	(株)日立ハイテクノロジーズ Hitachi High-Technologies Corporation	センサ技術を活用した組織活動可視化システム ビジネス顕微鏡
3	功績賞 Achievement Awards	「ザ・ファシリティマネジメントハンドブック」 翻訳・編集委員会 The FM Handbook Translation into Japanese	世界のFM基本参考書「ファシリティマネジメントハンドブック」の日本初の翻訳出版
4	功績賞 Achievement Awards	日本IBM本社ビル 記録誌編集チーム IBM Japan HQ Bldg. FM Report 1971-2009	日本IBM本社ビル1971-2009建築とファシリティマネジメントのライフタイム記録
5	功績賞 Achievement Awards	代表取締役社長 板谷 敏正 Toshimasa ITAYA (フロパティータバンク(株))	法人所有不動産の施設マネジメントに関する経営的視点からの分析(博士学位論文)
6	奨励賞 Promotion Awards	(株)内田洋行 Uchida Yoko Co., Ltd.	新川本社ビル「ユビキタス創創広場 CANVAS」における戦略的FMの実践
7	奨励賞 Promotion Awards	学校法人 西南学院 Seinan Gakuin	学校法人 西南学院 学びの場の持続的な発展を目指すスクールFMの実践
8	奨励賞 Promotion Awards	東京都北区立 中央図書館 City of Kita Library	赤レンガ倉庫の保存と活用をし、利用しやすく、区民が主役の運営を目指した図書館の構築事例。
9	奨励賞 Promotion Awards	東京海上日動システムズ(株) Tokio Marine Nichido Systems Co., Ltd.	東京海上日動システムズ株式会社～FMを通して「社員のやりがい発揮と社会貢献」を実現～

2012年 第六回 技術賞、功績賞、奨励賞

1	技術賞 Technology Awards	(株)NTTファシリティーズ NTT FACILITIES, Inc.	ワークスタイル診断ツールの開発・活用
2	技術賞 Technology Awards	(株)都市デザインシステム Urban Design System Co., Ltd.	最適な事業モデルを構築して社会ストックを活用する技術
3	功績賞 Achievement Awards	FMC(株) Facility Management Company Inc.	大沢幸雄著・小笠原直・露木博視・天野俊裕・土屋清人著「建築士・会計士・税理士の災害FAQ」
4	奨励賞 Promotion Awards	財団法人山口県国際総合センター Kaikyō Messe Shimonoseki	お客様の満足から感動へ【運営維持業務の品質向上・信頼性向上を目指した運営維持FMの推進事例】
5	奨励賞 Promotion Awards	(株)パソナグループ Pasona Group Inc.	パソナグループ本部～アーバンファーム～「人を活かす」パソナグループの人に対するファシリティーを体現するオフィス
6	奨励賞 Promotion Awards	山下 光博 Mitsuhiro YAMASHITA (工学院大学大学院)	工科大学の戦略的な施設投資のための基礎的研究 二つのキャンパスを有する工科大学における施設と施設管理費の関係